

関係施設の長 様

岐阜県健康福祉部地域福祉課長

令和3年度 岐阜県福祉の仕事合同研修・交流会
「福祉のあれこれを語ろう」への参加について（依頼）

日頃より、県の地域福祉行政に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、福祉の職場では深刻な人材不足の状況が続いており、特に本県における介護職員の離職者のうち約6割は就職3年未満で離職しています。福祉事業所では転職者が多いことに加え、小規模事業者が多いため、同年代の仲間作りが難しいことから、職場で孤立し相談相手がないことが、早期離職の一因と考えられています。

そこで、県では、昨年度に引き続き、福祉・介護職員になられて概ね3年以内の方を対象に、下記のとおり合同研修・交流会を開催いたします。本会では、同じ職務経験の人たちで悩みや情報を共有することで不安解消につなげるとともに、所属する事業所や職種を超えたネットワークづくりを行うことを目的としており、例年好評をいただいているところです。

つきましては、別添のとおり案内チラシを送付させていただきますので、貴施設の職員の皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日 令和4年1月20日（木） 13:30～16:00
- 2 開催方法 オンライン（Zoomで開催）
- 3 対象者 県内の福祉事業所で働く福祉・介護職員歴概ね3年以内の方
- 4 内 容 ◆第1部：研修会「モチベーションUPの秘訣」（13:30～14:20）
講師：杉本浩司 氏（メディカル・ケア・サービス株式会社）
1977年生まれ。介護専門学校時代はモデルとして活動。21歳で介護一本に専念。働きながら28歳で大学院に修学し、自立支援介護などを学ぶ。
“日本一カッコいい介護福祉士”として注目され、テレビなどのメディアにも登場。現在は介護福祉士としての活動に加え、年間70本以上の講演を行っている。

- ◆第2部：交流会「教えてセンパイ！」（14:30～16:00）
グループごとに、先輩職員や受講者同士で福祉への想いや日頃の悩み等について共有します。

====◆ 昨年度の参加者の声 ◆=====

- ・知らせ隊の方のアドバイスや、他の方が日々心掛けていることなどを聞き、自分も取り入れていきたいと思った。
- ・他の方も自分と同じ悩みを持っていて、どのように対応しているか等の意見を聞いたので、自分も参考にしていきたいと思った。
- ・同じ福祉業界でも、職種が違えば支援の視点や方法も異なってくるが、対人支援であることから共通する部分もあったので、「意外と同じなんだな」と感じる部分が多くあり勉強になった。
- ・いろいろと悩んでいる時期だったので、いい意味で息抜きができて、とても良い交流会だった。
- ・今回のような経験年数が同等の集まりだと話しやすい。
- ・他職種の方とお話のできたので、今後福祉に関する仕事を続けていくための視野が広がった。

所 属	地域福祉課福祉人材係		
担当係長	鷺見	担当	大口
住 所	岐阜市藪田南 2-1-1		
電 話	058-272-8261		
F A X	058-278-2651		
E-mail	c11219@pref.gifu.lg.jp		